

2年次前期・必修

2単位・30時間

【概要・目的】

医療はチームでなされるものであるが、そのチームの医療従事者のみならず患者・家族そして地域の人々との相互理解や意思疎通が必要である。医療現場に限らず、働きやすい職場、特に対人援助や接遇の現場では、利用者との安定かつ良好な関係を築くための人文社会科学的知見が、産業・組織心理学や人間関係論として蓄積されている。この講義では、人間関係論の基礎知識のうち、集団行動に関する理論と対人コミュニケーションの基礎的な理論を学ぶ。

【到達目標】

- 1) 集団の中の個人の行動の特徴を理解する。
- 2) 「自己」と「他者」を理解し、違いが通じ合えないことがコミュニケーションの前提であることを知った上で、実践に知見を活かせるようになる。

【授業内容のスケジュール】

【授業内容のスケジュール】		担当
1) 集団の影響	2) 同調	石井
3) 集団的意思決定の規範	4) 集団的意思決定の罫	石井
5) チームワークとリーダーシップ	6) 対人的意思決定とゲーム理論	石井
7) 社会的ジレンマ		石井
8) コミュニケーション論の基礎	9) 記号論	増田
10) 非言語コミュニケーション	11) 自己理解	増田
12) 自尊感情	13) 自己開示・自己呈示	増田
14) ポライトネス理論(基礎篇)	15) 心理学的な説得的コミュニケーション	増田

【評価】

石井担当回(50点満点)と増田担当回(50点満点)の合算で評価する。期末試験及び再試験を含め、両教員の担当授業は独立しているので注意すること

【石井担当回】筆記試験(80%)、提出物(10%)、発表(10%)により総合的に評価する。

【増田担当回】期末試験は問題選択式記号選択式試験と問題選択式論述式試験の組み合わせであり、それぞれ24点満点、合計48点満点で絶対評価される。記号選択式では24問出題で、正答1問4点加点、誤答1問4点減点である。論述式では4問出題されるうち、1問のみを選んで回答する。但し、Covid-19が鎮静化した場合は、成績評価方法を変更する。

【教科書】【推薦参考図書】

【石井担当回】使用しない。

【増田担当回】以下の4点は必携である。2024年度から選択科目となる「医療コミュニケーション」でも活用する。

必携①岡本真一郎「言語の社会心理学」中央公論新社(中公新書) 2013

必携②藤田依久子「対人コミュニケーション入門[上]」第2版 ナカニシヤ出版 2009

必携③末田清子「コミュニケーション・スタディーズ」新曜社 2021

必携④「最新版 論文の教室 レポートから卒論まで」戸田山和久 NHK出版 2022